

全国書誌通信

No.74

1990. 2. 28

国立国会図書館

(『印刷カード通信』の改題)

情報の経済的自立

金 中 利 和

当館は、わが国の全国書誌作成機関の役割を担っておりますが、諸外国でも、一般にその国の国立中央図書館が納本制度にもとづいて、この機能を果たしております。

この各国が作成する全国書誌レコードを、機械可読の形でお互いに交換・利用することをめざして、IFLA（国際図書館連盟）のコア・プログラムのひとつであるUBCIM（世界書誌調整・国際MARCプログラム）では、ISBD（国際標準書誌記述）やUNIMARCフォーマットを制定しております。

ジャパン・マークが、ISBDに依拠するNCR（日本目録規則）新版予備版で目録作業が行なわれ、UNIMARCに準じたフォーマットで作成されているのも、国際的な書誌情報の流通に応えるためでもあります。

昨年8月末に開かれたIFLAパリ大会では、UBCIMの委員がメンバーとなっているIMNC（国際MARCネットワーク委員会）が、主要12か国の全国書誌作成機関にたいして行なった、書誌レコードの作成と配布に関する調査の結果（10館が回答）を報告しました。

それによりますと、書誌レコードの作成について、ISBDにもとづく目録規則は次第に複雑化する傾向にあります。その適用に当たっては、人的コストの面から簡略化・単純化する努力がみられることが指摘されております。

同委員会では、ISBDを、書誌レコードの互換性を損わないように留意して、簡略化の観点から見直すこと、および、国際的な交換のために最低必要な書誌的データ要素についての基準を作成することを提言しております。

この提言は、書誌レコードの作成と配布が複雑になると、多大の人手とコストがかかることに配慮したものであり、国際的にも、コストの軽減と情報の経済的自立への努力が無視できなくなりつつある状況を反映しているものと思われまます。

(図書部長)

目 次

原書名に関する注記の適用範囲拡大について	2
著者標目（個人）の変更	5
典拠作業点描	12
和図書レコード数とISBN付与率	15

原書名に関する注記の適用範囲拡大について

1989年のNDL和図書データ入力件数62,345件のうち、翻訳書は4,351件(約7%)になります。翻訳書の原著のタイトル(原書名)については注記の部分に「The summer tree. の翻訳」のように記録していますが、1990年から、注記の範囲を拡大しましたのでお知らせいたします。

1. 原著の言語による範囲

当館では、1977年から和図書データ入力を、また原書名の部分の印刷カードへの出力は1980年に開始しました。入力開始当初、原書名を記録する原著の言語の範囲を7か国語に限っていましたが、順次対象を拡大してきました。今回、さらに範囲を拡大して、現在機械処理のできない中国語、朝鮮語、アラビア語、ヘブライ語、イディッシュ語等を除き、注記することにいたしました。すでにインドネシア語とスウェーデン語が新たに加わっています。発音符のついた文字は、発音符を除いた形で記載することがあります。その他東洋諸語については、機械処理できる翻字形がその資料中いずれかの箇所に表示されていれば記載します。

2. 文学作品・児童図書など

これまで原書名を注記していなかった文学作品、抄訳などについて、1990年から可能な限り注記します。また児童図書(絵本も含む)も対象範囲に入れました。ただし、以下のものについては、この対象からはずします。

- a) 日本で編纂したもの(全集も含む)
- b) 小説のうち、ハーレクインロマンス等のシリーズ
- c) 簡略整理のもの、学習参考書・試験問題集

なお、原書名はその図書を情報源としています。原書名の副書名は原則として記載しませんが、必要なときは、「:」を前置して記載しています。原書名を記載した場合には、原著の版に関する事項も、原書名に続けて記載し、一連の注記といたします。(『「日本目録規則」適用細則 第2版』2.7.3.1.(4)参照)

図1. 原書の版の記載例

1/2	
精神科のロングターム・ケア 人間学的作業療法 Moya	
Willson 著 山田義夫, 小口徹共訳	
東京 協同医学出版社 1989.10	
168p 26cm	
Occupational therapy in long-term psychiatry. 2nd ed.	
の翻訳	
各章末:参考文献	
(つぎのカードにつづく)	
1.Seisinka no rongu tãmu kea al. Willson, Moya.	
a2. Yamada, Yosio a3. Oguti, Tôru sl. 作業療法 @SC381	
①493.72	
SC381-E33	2575円
02.01.30 1	JP90-03788
070020	7 2 3

図 2.

(拡大前)

嵐の前のインドネシア 1965年の「9月30日事件」前夜
 下 ロシハン・アヌワル著 左藤正範訳
 東京 井村文化事業社 1988.11
 278p 19cm (東南アジアブックス 95 インドネシアの社会 6)
 発売: 勁草書房
 ISBN4-326-91096-8

インドネシア語の
原書名

インドネシアへの歩み 庶民が綴るインドネシア現代史
 アスワブ・マハシン他編 高取茂訳
 東京 井村文化事業社 1989.10
 406p 19cm (東南アジアブックス 101 インドネシアの社会 7)
 Perjalanan anak bangsa.の翻訳
 発売: 勁草書房
 ISBN4-326-91102-6

アジア
マサノリ
.24

2100円
JP89-09455

1.インドネシア エノ アユミ 2.トウナン アジア ブックス
 al.Mahasin,Aswab. a2. タカトリ, シゲル s1. インドネシア-
 伝記 ①GK21 ②282.4

GK21-E20

02.02.20

4



070022

2 9

2575円

JP90-03510

図 3. 児童図書の原書名

クマの王子 アルメニア(ソビエト)の民話 アンドラニク・
 エルバンドヴィチ・キリキャンえ きたはたしずこやく
 東京 ほるぷ出版 1989.12
 1冊 30cm
 Сын медведя.の翻訳
 ISBN4-593-50237-3

1.クマ ノ オウジ al.Kilikyan,Andranik Ervandovich.
 2.クマノオウジ al.キリキャンエ

図 4. 文学作品の
原書名

異端教祖株式会社 ギョーム・アポリネール〔著〕 窪田般弥
 訳
 東京 白水社 1989.10
 238p 18cm (白水Uブックス 85 小説のシュルレアリスム)
 L'Hérésiarque et Cie.の翻訳
 ISBN4-560-07085-7

1230円
P90-04257

1.イタン キョウソ カブシキ ガイシャ al.Apollinaire,
 Guillaume. a2. クボタ, ハンヤ ①KR151 ②953

KR151-E9

02.02.27

4



070022

1 1

880円

JP90-06576

原書名注記の範囲拡大を開始した「日本全国書誌」1990年1号～4号（Japan/MARCも同じ）のデータでみると、入力件数4,300件、うち翻訳もの306件、原書名注記のあるもの221件で、翻訳ものの72%に原書名が記録されています。1989年までは翻訳書のうち原書名注記のあるレコードが43%で、文学作品に適用したことが増加の主な要因と思われます。

J-BISCでは、原著のタイトルが検索項目となっていますので、特に文学作品で原著のタイトルからの検索のヒット率は高くなりました。検索はより便利になるものと思われます。

Japan/MARCでは、原書名注記に対応して入力している原文の言語コードのフィールドがタグ101\$Cにあります。言語コード表については、『JAPAN/MARC マニュアル第3版』p.39をご覧ください。

★参考 データにみる原書の言語

原書の言語	言語コード	1989年1～50号 (62,345件のうち [*])	1990年1～4号 (4,300件のうち)
英語	ENG	1,473件 (78.0%)	164件 (74.2%)
ドイツ語	GER	173件 (9.2%)	18件 (8.1%)
フランス語	FRE	170件 (9.0%)	24件 (10.8%)
ロシア語	RUS	40件 (2.1%)	5件 (2.2%)
スペイン語	SPA	13件 (0.7%)	
イタリア語	ITA	12件 (0.6%)	1件 (0.5%)
デンマーク語	DAN	1件 (0.1%)	3件 (1.3%)
チェコ語	CZE	1件 (0.1%)	
ラテン語	LAT	1件 (0.1%)	
ノルウェー語	NOR	1件 (0.1%)	
ポーランド語	POL		2件 (0.9%)
ブルガリア語	BUL		1件 (0.5%)
フィン語	FIN		1件 (0.5%)
インドネシア語	IND		1件 (0.5%)
スウェーデン語	SWE		1件 (0.5%)
ポルトガル語	POR		
オランダ語	DUT		
合計		1,885件 (100%)	221件 (100%)

注* 1989年分は今回の拡大措置を適用していないため、文学作品、児童図書などの原書名は記録していない。

(収集部国内資料課)

著者標目(個人)の変更

本表は、平成1年1月～12月までの著者標目(個人)のよみと文字についての訂正の一覧である。
訂正された部分は下線で示す。

訂正件数

よみの訂正 100件

文字の訂正 23件

排列

訓令式ローマ字ABC順

(注) 『日本全国書誌』では著者標目をカタカナで表記しているが、本表では、『国立国会図書館著者名典拠録』(1979年刊)および当館の事務用典拠ファイルにあわせ、訓令式ローマ字で表記した。

典拠・理由(表右欄)

著者標目の形式を定めるとき参考にした典拠、または訂正した理由

<よみの訂正>

標目	目	典拠・理由
Abe, Zihei → Abe, <u>Haruhira</u>	阿部 治平	勤務先回答
Aketa, Tetuo → <u>Akeda</u> , Tetuo	明田 鉄男	「考証幕末京都四民の生活」 奥付
Debuti, Sigeo → <u>Izubuti</u> , Sigeo	出淵 重雄	本人回答
Doi, Masasiti → Doi, <u>Syôsiti</u>	土井 正志智	大学研究者総覧 1979年版
Endô, Hidemi → Endô, <u>Husayosi</u>	遠藤 英美	文化人名録 20版
Hakii, Seizi → <u>Hagii</u> , Seizi	波木居 齊二	本人回答
Haneda, Tei → Haneda, <u>Makoto</u>	羽根田 諦	「いのち新たに」奥付
Hiki, Yosinobu → Hiki, <u>Yosiki</u>	比企 能樹	大学研究者総覧 1984年版
Hirasima, Gunzaburô → <u>Hirazima</u> , Gunzaburô	平島 郡三郎	出版者回答

標	目	典拠・理由
Hirose, Mizuhiro → Hirose, <u>Yoshihiro</u>	広瀬 瑞弘	家族回答
Hirose, Zui ^h kô → Hirose, <u>Yoshihiro</u>	広瀬 瑞弘	家族回答
Horikiri, Kôzi → Horikiri, <u>Yasuzi</u>	堀切 康司	勤務先回答
Huan, Sogyon → <u>Han</u> , Sogyon	黄 哲暎	誤記訂正
Huzii, Takayosi → Huzii, <u>Takami</u>	藤井 高美	大学研究者総覧 1984年版
Huzinami, Takasi → Huzinami, <u>Masaru</u>	藤波 高	「とり残された子らの京都の教育史」奥付
Iha, Nantetu → <u>Iba</u> , Nantetu	伊波 南哲	家族回答
Iizuka, Sigetosi → Iizuka, <u>Sigetake</u>	飯塚 重威	大学研究者総覧 1979年版
Ikeda, Zyuiti → Ikeda, <u>Tosikazu</u>	池田 寿一	「飯田の美術」著者略歴
Inô, Yosinori → Inô, <u>Kanori</u>	伊能 嘉矩	日本人名大事典
Inoguti, Osami → <u>Inokuti</u> , Osami	猪口 修道	「遺伝子産業最前線」奥付
Inoue, Masanori → Inoue, <u>Masaki</u>	井上 正記	上野図書館目録
Isikawa, Toshihiro → <u>Isiko</u> , Toshihiro	石河 利寛	大学研究者総覧 1984年版
Isizuka, Masanari → Isizuka, <u>Seiya</u>	石塚 正也	本人回答
Iwabuti, Setuo → <u>Iwahuti</u> , Setuo	岩淵 節雄	大学研究者総覧 1984年版
Kaibara, Hiroshi → <u>Kaihara</u> , Hiroshi	貝原 浩	現代人名辞典
Kaneda, Syôiti → Kaneda, <u>Masaiti</u>	金田 正一	人事興信録 第33版
Kanô, Sadako → <u>Kano</u> , Sadako	狩野 貞子	誤記訂正
Kitagawa, Sigeharu → Kitagawa, <u>Sigezi</u>	北川 茂治	本人回答
Kitamura, Hikaru → Kitamura, <u>Mitu</u>	北村 光	家族回答
Kizaki, Ryôhei → <u>Kisaki</u> , Ryôhei	木崎 良平	本人回答
Komura, Sadakiti → Komura, <u>Sadayosi</u>	小村 定吉	家族回答
Kozaki, Teinosuke → <u>Kosaki</u> , Teinosuke	小崎 碓之介	「自然と労働を詠む」奥付
Kurihara, Genda → Kurihara, <u>Genta</u>	栗原 源太	大学研究者総覧 1984年版

標	目	典拠・理由
Kusasita, Masao → <u>Kusaka</u> , Masao	草下 正夫	「亜高山地帯の造林技術」標題紙及び裏
Kuwabara, Keizen → <u>Kuwahara</u> , <u>Hiroyosi</u>	桑原 啓善	本人回答
Kuwada, Sansyû → <u>Kuwata</u> , <u>Sansyû</u>	桑田 三舟	家族回答
Kuwada, Sasabune → <u>Kuwata</u> , <u>Sasahune</u>	桑田 笹舟	本人回答
Kuwata, Saburô → <u>Kuwada</u> , <u>Saburô</u>	桑田 三郎	文化人名録 20版
Makino, Seikyô → Makino, <u>Masayasu</u>	牧野 正恭	家族回答
Makino, Takanobu → Makino, <u>Ryûsin</u>	牧野 隆信	「北前船」奥付
Matunaga, Zai → Matunaga, <u>Motoki</u>	松永 材	文化人名録 20版
Matuzaki, Sadayosi → Matuzaki, <u>Teiryô</u>	松崎 貞良	「天野貞祐先生とヒューマニズム」奥付
Mihasi, Tosio → <u>Mituhasi</u> , Tosio	三橋 敏雄	「畳の上」奥付
Misonô, Yoshihisa → Misonô, <u>Yosinao</u>	御園生 善尚	大学研究者総覧 1984年版
Miti, Masahiko → <u>Tôri</u> , Masahiko	通 雅彦	「快船・三重丸」奥付
Miyatake, Zyunko → Miyatake, <u>Noriko</u>	宮武 順子	大学研究者総覧 1984年版
Monnai, Atusi → Monnai, <u>Zyun</u>	門内 淳	「C++プログラミング」奥付
Morohosi, Ryû → <u>Morobosi</u> , Ryû	諸星 竜	「五分間伝記」奥付
Mukuta, Naoko → <u>Mukuda</u> , Naoko	椋田 直子	本人回答
Nakagawa, Tuyosi → Nakagawa, <u>Gô</u>	中川 剛	大学研究者総覧 1984年版
Nakamura, Mitugu → Nakamura, <u>Mitugi</u>	中村 貢	家族回答
Nemoto, Kei → Nemoto, <u>Takasi</u>	根本 敬	「学ぶ」奥付、「生きる」標題紙
Ninomiya, Takeo → <u>Nimiya</u> , Takeo	仁宮 武夫	「世界心霊科学大系」奥付
Nisimura, Kôgetu → Nisimura, <u>Keiget</u>	西村 耿月	「ある夢想家の青春」奥付
Obara, Yosiaki → <u>Ohara</u> , Yosiaki	小原 嘉明	大学研究者総覧 1984年版

標	目	典拠・理由
Ôbosi, Mitunori → <u>Ôhosi</u> , Mitunori	大星 光史	本人回答
Ôdate, Yûkiki → <u>Ôdati</u> , Yûkiki	大館 勇吉	本人回答
Ôgane, Naruhiko → <u>Ôgane</u> , <u>Tosihiko</u>	大鐘 稔彦	勤務先回答（上尾甕生病院）
Ogawa, Masayasu → Ogawa, <u>Masatada</u>	小川 政恭	大学研究者総覧 1979年版
Ogawa, Seikyô → Ogawa, <u>Masatada</u>	小川 政恭	大学研究者総覧 1979年版
Ogawa, Yasuo → Ogawa, <u>Kyôsei</u>	小川 恭生	家族回答
Ôguro, Isamu → <u>Ôkuro</u> , Isamu	大黒 勇	大学研究者総覧 1979年版
Ôno, Seizi → <u>Ôno</u> , <u>Masaharu</u>	大野 政治	「大野政治先生古稀記念房総史論集」著者略歴
Origasa, Yosiaki → Origasa, <u>Bisyû</u>	折笠 美秋	「君なら蝶に」奥付
Ozawa, Yasuto → Ozawa, <u>Yasuhi to</u>	小沢 康人	大学研究者総覧 1984年版、 勤務先回答（専修大学）
Sahara, Hiroshi → Sahara, <u>Yô</u>	佐原 洋	大学研究者総覧 1984年版
Sakamoto, Mituo → Sakamoto, <u>Teruo</u>	坂本 光雄	人事興信録 33版
Sano, Bun'ya → Sano, <u>Bunsei</u>	佐野 文哉	文化人名録 第20版
Sanzyô, Tokusaburô → <u>Yamazyô</u> , Tokusaburô	山条 徳三郎	家族回答
Satô, Yosio → Satô, <u>Kitio</u>	佐藤 吉男	知人回答
Sawaki, Susumu → Sawaki, <u>Sin</u>	沢木 進	「燃えさかる根の国」奥付
Siba, Kiyoyuki → Siba, <u>Kiyosi</u>	芝 清之	著者略歴
Simamoto, Masanori → Simamoto, <u>Masanari</u>	島本 正斉	誤記訂正
Simizu, Mituyuki → Simizu, <u>Mitiyuki</u>	清水 盈行	大学研究者総覧 1979年版
Sinagawa, Nobuyosi → Sinagawa, <u>Sinryô</u>	品川 信良	大学研究者総覧 1984年版、 人事興信録 33版
Sinpo, Seizi → <u>Sinbo</u> , Seizi	新保 生二	現代日本人名辞典
Sô, Torasuke → <u>Mune</u> , Torasuke	宗 虎亮	奥付
Sugitani, Syôzin → Sugitani, <u>Akito</u>	杉谷 昭人	「杉の柩」奥付

標	目	典拠・理由
Syû, Tatusei → Syû, <u>Tassei</u>	周 達生	誤記訂正
Syudô, Motosumi → <u>Syutô</u> , Motosumi	首藤 基澄	大学研究者総覧 1971年版、 1984年版
Syutô, Motozumi → <u>Syutô</u> , <u>Motosumi</u>	首藤 基澄	大学研究者総覧 1971年版、 1984年版
Takaba, Tokuya → <u>Takaha</u> , Tokuya	鷹羽 十九哉	「虹へ、アヴァンチュール」 奥付
Takahasi, Syôzô (1928生 医学) → Takahasi, <u>Terumi</u>	高橋 昭三 (1928生 医学)	大学研究者総覧 1984年版
Takeda, Sin'iti → Takeda, <u>Nobukazu</u>	竹田 信一	本人回答
Tanabe, Takeo → Tanabe, <u>Tatuo</u>	田辺 建雄	出版者回答
Tanaka, Masazumi → Tanaka, <u>Masasumi</u>	田中 真澄	「小津安二郎全発言」奥付
Tanimoto, Yosibumi → Tanimoto, <u>Yosihumi</u>	谷本 義文	大学研究者総覧 1984年版
Tesima, Yûkei → <u>Tezima</u> , Yûkei	手島 右卿	文化人名録 第20版
Tida, Gyôun → Tida, <u>Kôun</u>	千田 行雲	本人回答
Tida, Takesi → Tida, <u>Tuyosi</u>	千田 壮	本人回答
Tozawa, Akinori → Tozawa, <u>Akinobu</u>	戸沢 昭宣	「詰碁実力テスト 6・7・ 8級」奥付
Ueda, Kôbô → Ueda, <u>Yukinori</u>	上田 幸法	「冬の神さま」奥付
Umehara, Kasuke → Umehara, <u>Yosisuke</u>	梅原 嘉介	大学研究者総覧 1984年版、 勤務先（日本文理大学）回答
Utigaki, Nârâyan → Utigaki, <u>Nitisi</u>	内垣 日親	誤記訂正
Utumi, Yasuya → Utumi, <u>Yasunari</u>	内海 康也	本人回答
Watanabe, Syuzyun → Watanabe, <u>Morimiti</u>	渡辺 守順	本人回答
Yabuuti, Syôti → <u>Yabunouti</u> , <u>Zyôti</u>	藪内 紹智	「原色茶道大辞典」奥付
Yamasaki, Zyun → <u>Yamazaki</u> , Zyun	山崎 淳	「病院の検査が楽しくわかる 本」奥付、現代日本人名録
Yamazaki, Masaharu → Yamazaki, <u>Syôzi</u>	山崎 正治	「おらがむらの十五年戦争」 著者略歴

標	目	典拠・理由
Yamazaki, Tosihara → <u>Yamasaki</u> , Tosiharu	山崎 利治	「プログラム言語」奥付

<文字の訂正>

標	目	典拠・理由
Akiyama, Tyôzô	秋山 寵三 → 秋山 <u>寵三</u>	誤記訂正
Hori, Syôitirô	堀 省一郎 → 堀 省一朗	誤記訂正
Horiba, Yositi	堀場 芳一 → <u>ほりば</u> 芳一	誤記訂正
Hosaka, Masayasu	保坂 正康 → 保 <u>阪</u> 正康	「文化人名録」 20版
Hosoda, Yûzô	細田 裕造 → 細田 <u>祐造</u>	誤記訂正
Hurezi Matukawa → <u>Matukawa</u> , Hurezi	フレディ松川 → <u>松川</u> <u>フレディ</u>	「医籍総覧」 第59版
Huriya, Kayoko	降谷 加代子 → 降 <u>矢</u> 加代子	誤記訂正
Hurukawa, Motoyosi → Hurukawa, <u>Motonobu</u>	古川 元宜 → 古川 元 <u>宣</u>	本人回答
Katô, Noboru	加藤 昇 → 加藤 <u>昇</u>	誤記訂正
Kitano, Huzio	北野 富士男 → 北野 富士 <u>雄</u>	誤記訂正
Kobayasi, Satoru	小林 察 → 小林 <u>さとる</u>	誤記訂正
Momo, Minosuke	百々 己之助 → 百々 <u>巳之助</u>	誤記訂正
Nakata, Mizuho	中田 みづほ → 中田 <u>瑞穂</u>	誤記訂正
Saitô, Sotokiti	斉藤 外吉 → <u>斎藤</u> 外吉	誤記訂正
Saitô, Tatuya	斉藤 辰弥 → <u>斎藤</u> 辰弥	誤記訂正
Saitô, Yasuhisa	斉藤 恭久 → <u>さいとう</u> <u>やすひさ</u>	誤記訂正
Sakamoto, Eturô	坂本 越郎 → <u>阪本</u> 越郎	「阪本越郎全詩集」 書名、奥付、年譜
Sugiyama, Hiroaki	杉山 博明 → 杉山 博 <u>昭</u>	誤記訂正
Tutiya, Yukio	土屋 由岐雄 → <u>土家</u> 由岐雄	誤記訂正
Usami, Kôsei	宇佐美 公正 → 宇佐美 公 <u>生</u>	誤記訂正

標目		典拠・理由
Watanabe, Yosi	渡邊 敬 → 渡部 敬	誤記訂正
Yamanouti, Itirô	山之内 一郎 → 山内 一郎	誤記訂正
Yano, Takanori → <u>Yazima</u> , <u>Takanori</u>	矢野 隆教 → 矢島 隆教	誤記訂正

典拠作業点描

国立国会図書館が昭和23年の開館以来、目録記入の標目として採用した明治以降の日本人著者名は約20万人。この著者名典拠の作成・維持管理は、著者と書名に関するアクセスポイントの付与とともに、図書整理課著者書名係で行っている。日本人の名前の読みの難しさは、目録を担当したことのある人であれば誰でもわかってくれることだろう。典拠という以上、明確な根拠に裏付けられた正確な読みでなければならない。しかし、それが難しい。極端なことを言うと、著者本人に回答を求めても、時によって異なることがあり、家族回答と本人回答が異なることも珍しくない。「実は戸籍上は△△ということになっているのですが、皆が××と読むので、この頃は自分でも××でいいという気になっているんですよ。」そのような回答であれば、まだ典拠作成者として張り合いもあるというものだが、清濁、音訓、どちらが正しいのかなどと尋ねると「どちらでもいいんじゃないですか。どうして、国会図書館はそんなことにこだわるのですか？」などと問われると、気持ちも萎縮してくる。

主要な人名録や人名辞典を調べ、本の奥付や著者略歴を参考にし、出版社に確認の電話を入れ、必要に応じて葉書や電話で直接著者に確認する。そのようにして、人名の読みを確定した後、著者を識別するための要素——生年、職業、分野、主な経歴などを典拠カードに記入する。Japan / MARCやJ-BISC、印刷カードなど、全国書誌関連の書誌類の著者名コントロールは、この典拠カードに基づいて行われている。同名異人の区別、複数の名前を使用する著者名の相互参照、複数の読みを使用する著者の一つの読みへの参照なども、典拠カード上では行っている。

この典拠は、1979年に『国立国会図書館著者名典拠録』として、また1981年、1985年には『同追録』として印刷刊行した。それ以後、数年の歳月を経ている。典拠カードは機械入力し、一応、機械可読形の「典拠ファイル」らしきものも作っているのであるが、整備が十分に行われている、というわけではまだない。折角、苦心して作っているものでもあり、外部の図書館から要望もあるようなので、実務担当者としては、わが国の書誌情報流通の標準化の一端として、できるだけ望ましい形で、共有化できる状態にもってゆきたいと思う。(T)

〈どこかに記載が〉

作業を始める時、まず図書自体を見る。自分に読めない名前はもちろん、読める名前も安心はできない。とは言っても、最近出版される図書には、ほとんど著者名のルビが奥付またはカバーに記載されている。おかげで作業がしやすくなった。

ヨミはわかっても、まだ同姓同名という場合がある。これを区別するための要素は、生年、職業、分野などである。これらについても図書に記載されていると大変うれしい。どこかに著者についての詳しい記載があることを願って図書をひっくり返すことから調査は始まるわけである。(X)

〈同名異人〉

やっとのことで著者の名前のヨミを調べ、ホッとすると、実はすでにその著者と全く同じ漢字で同じヨミの著者名典拠カードが作られている場合がある。同名異人のケースだ。この場合、生年で区別するが、生年が不明だったり、生年でも区別できない時は、職業、専門分野、世系などを付記して区別することになる。奥付や著者略歴に生年や職業が記載されているとよいが、それらにない時は、本人や出版社などに電話や葉書で連絡を取ることになる。約20万人の著者名典拠カードの中には、「鈴木博(スズキ、ヒロシ)」…16人、「伊藤博(イトウ、ヒロシ)」…13人がいる。また、「小林茂(コバヤシ、シゲル)」…14人の中には、「小林茂(1914生 経済史)」、「小林茂(191

4生 教育学)」、「小林茂(1933生 心理学)」、「小林茂(1933生 哲学)」、「小林茂(1942生 仏文学)」、「小林茂(1942生 公務員)」のケースもある。(M i)

〈本人回答〉

著者名典拠カードに「本人回答」と記入する時は、ちょっと誇らしい気分である。数ある典拠中の最高峰！名前の読み方だから「本人が言うのに間違いはない」。

葉書か電話で問合せるのだが、なんと言っても電話が楽しい。または恐い。著作についての解説をしてくださる方あり、こちらの感想を求められることあり、以前のカードの間違いの指摘あり、納本制度への質問ありで、日々、全国のさまざまな人たちと話ができる。

会話がはずんで「どうも、ありがとうございます」と電話をきった途端、「あれっ、ヤマサキ？ ヤマザキ？」ということがある。呼吸を整えて再度電話。高い山はやはり険しい。

(F)

〈でんわでは〉

寄贈された図書に多いことですが、著者名典拠作成の時に困るのは、人名のヨミの記載がない場合です。住所、電話番号の記載がある場合にはたどりつけるのですが、ない場合は、発行者に問い合わせるなり、電話番号を調べるなりするのです。やっとわかり本人に電話で問い合わせをします。地方の場合が多いのですが、御本人が出られて、ホッととして、名前の確認をし、こちらも復唱して確認します。「はい、わかりました。〇〇ですね。はあ、珍しいヨミですね。では、〇〇として、目録をとらせていただきます。」ガチャン。典拠作成後、点検者に回り、点検を受けるのですが、その時、「絶対にこんな風には、読めませんよ。何かの間違いではありませんか。」「いえ、本人に確認しましたから大丈夫だと思います。人名というのは、いろいろですからね。」と自信を持って返答する。「もう一度、確認させてもらいますよ。」「はい。」「やはり、△△でした。」なんと、先方が御老人で発音がはっきりしなかったことと、地方で「イ」と「エ」の区別がつかねたことなどで、違いが生じたのです。こういうことは、よくあることと注意はしていたのですが、言われました。「あなたの耳の方がおかしかったのでは？」まだ、そんな年ではないのですが……。

(I)

〈佐藤高明著『挫折』の場合〉

- ① 本の著者略歴に「コウメイ」とルビあり。典拠カードの「サトウ、コウメイ」を見ると、典拠は勤務先回答となっています。最初にこの著者名典拠を作成した時の図書名は『後撰和歌集の研究』で分野が違うようです。そこで別の読み方「タカアキ」も調べてみましょう。
- ② 典拠カードの「サトウ、タカアキ」は、生年・職業・分野も同じ。しかもヨミの典拠は記載されていないので推定によるヨミと考えられ、これは同一人物で勤務先回答の「コウメイ」さんが正しいのでは？
- ③ データベースで両者の著作を検索してみると、中世文学、ノンフィクション、フィクションと多才。『挫折』でゼツシそうでしたが、小説も書くことがわかりました。
- ④ 念のため、出版社に問合せると、「コウメイ」さんで、中世文学の研究者ですが、小説もお書きになるとの回答を得、ここでようやく一件落着！

(Y)

〈燕石猷さんの場合〉

典拠の重複は、ヨミの清濁、音訓の違いによることが多い。

ところが「燕石猷」さんの場合は、ヨミは同じなのに典拠が重複していました。何故か？

著者名典拠は姓名を区切って排列してある。「燕石猷」さんは、「燕//石猷」と「燕石//猷」という姓名の区切り方の違いで排列がかわってしまい、(ヨミは同じでも)見つけられず、典拠が重複してしまったのでしょう。

結局、家族回答により「燕石//猷」を残すことと相なりました。(Ma)

ちなみに、この人のヨミは「エンセキ ユウ」です。

〈一人で共著?〉

共著の形をとる著書は多い。また、同一の著者が複数の著者名を持つのも珍しいことではない。しかし、ごく稀に一人の著者にもかかわらず共著の形で本を出版するという、「冗談」が起こる。たとえば、次のように。

『ムツゴロウの名人ブルース』

ムツゴロウ著 畑正憲訳

『作家の肖像』

中島梓、栗本薫著

どちらの場合でも現行の目録規則では、標目として両方の著者名を採用し、それぞれを「相互」に参照して処理する。

「著者名」に関して「ふつうは……だ」と持ち出してもあまり効果のあることではないようだが、一人の著者が一冊の本を書く時、「ふつうは」1つの著者名を使おうとするのではないかしら？

幸いにも、と言うべきか、4年程この仕事に携わってきて僕はまだこの事例に出会っていない!! ようだ??(本当は出会っていて、別人として処理し、同一人であることに気付かなかっただけだったりして!!)

(Mu)

〈大汗かいて〉

ケアレスミスが許されない仕事である。小さくても大切な約束事の多いこと多いこと。次の係に図書とデータシートを送った後になって、新しい情報がわかったり、ケアレスミスを発見したりすると、データシートを追いかける。時には次の次の係まで追いかける。慌てて修正する。ところが、慌てたあまり、ミスにミスを重ねてしまうこともある。それに気がついた時は冷や汗!結局、二重の訂正となり、やっとのことでデータ入力に間に合う。大汗をかいて運動不足の身にはよいのかもしれないけれど。

(K)

和図書レコード数とISBN付与率

(1977年～1989年)

年	官 庁 出 版 物			民 間 出 版 物			全 体		
	件 数	ISBN 付与件数	ISBN 付与率	件 数	ISBN 付与件数	ISBN 付与率	件 数	ISBN 付与件数	ISBN 付与率
1977	9,635			27,555			37,190		
1978	6,176			29,247			35,423		
1979	5,485			28,904			34,389		
1980	10,821	4	0.0%	33,871	149	0.4%	44,692	153	0.3%
* 1981	11,892	73	0.6%	37,446	3,219	8.6%	49,338	3,292	6.7%
1982	14,158	153	1.1%	42,782	8,984	21.0%	56,940	9,137	16.0%
1983	13,148	159	1.2%	39,582	12,202	30.8%	52,730	12,361	23.4%
1984	14,116	204	1.4%	44,693	17,571	39.3%	58,809	17,775	30.2%
1985	15,538	278	1.8%	49,096	23,738	48.4%	64,634	24,016	37.2%
** 1986	10,787	373	3.5%	50,406	28,841	57.2%	61,193	29,214	47.7%
1987	9,771	521	5.3%	48,895	30,654	62.7%	58,666	31,175	53.1%
1988	9,338	547	5.9%	52,180	32,531	62.3%	61,518	33,078	53.8%
1989	9,766	554	5.7%	52,579	34,628	65.9%	62,345	35,182	56.4%

* ISBN（日本図書コード）の表示は1981年1月より開始（一部1980年より）。

** 1986年1月より逐次刊行物扱いとする資料の範囲を拡大した。

（『印刷カード通信』No.66参照）

『全国書誌通信』は、No.72からの改題に伴い、印刷カード利用館に加えて、ジャパンマーク、J-BISC利用館にもお届けしています。印刷カード利用館には当館から直接、ジャパンマーク、J-BISC利用館には日本図書館協会を通じてそれぞれ送付しています。

本誌を通して、各利用館とのコミュニケーションを深めていきたいと存じますので、誌面その他のことについて、何かお気づきの点やご意見ご質問がございましたら、図書整理課までお知らせください。

問合せ先 — 国立国会図書館 03(581)2331(代表) —

日本全国書誌	………図書部図書整理課	(内) 3520
ジャパン・マーク	………総務部情報処理課	(内) 2401
印刷カード	………図書部図書整理課印刷カード係	(内) 3517
国立国会図書館蔵書目録	………図書部書誌課	(内) 3601
書誌データの内容について		
記述	………収集部国内資料課	(内) 3015
標目(著者・書名)	………図書部図書整理課著者書名係	(内) 3523
標目(分類・件名)	………図書部図書整理課分類件名係	(内) 3526
出版社の住所の照会について		
図書館から	………図書部協力部国内協力課図書館サービス係	(内) 5115
民間から	………収集部収集課納本調査係	(内) 3013

全国書誌通信 (不定期刊)

No. 74 1990年2月28日発行

(『印刷カード通信』の改題)

編集・発行 国立国会図書館図書部図書整理課

〒100 東京都千代田区永田町1-10-1 ☎ 03(581)2331(代)